

2024年度

神辺町字西中条

福山市 神辺 町 地内

耐震性貯水槽設置工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長	L=11.5m
耐震性貯水槽 (40m ³ 型)	N=1基	
上層路盤工	A=101m ²	
表層工	A=101m ²	
区画線工	L=28.1m	
標識設置工	N=1基	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、耐震性貯水槽設置工事（神辺町字西中条）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第2節 製品の規格

水槽規格 二次製品耐震性貯水槽認定品
40m3型 II型 有蓋

第3章 施工条件

第1節 道路工事に伴う中国電力の架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。ただし、架空線等事故防止対策簡易ゲートに要する費用については、安全費として共通仮設費率に含んでいる。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

第2節 道路工事に伴うNTTの架空線の防護管に要する費用について

建設工事等に伴うNTT 架空ケーブル等への防護措置に係る費用は、現在見込んでいない。受注者が労働安全衛生法第20条に基づき必要な措置を講ずる時で、発注者が防護用ケーブルカバーを必要と認める場合かつ、NTTケーブルが市道内にある場合は、見積もり等による決定額とする。

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第4節 現場の復旧

- ・原形復旧とする。

第5節 事前・事後調査

- ・本工事において、事前に工事損失の調査を行っている。工事開始前までに調査結果に相違ないかを確認し、工事期間中の経過観察を行うこと。工事完了後に、「福山市建設工事損失補償事務処理要綱」に基づき関係者へ通知すること。

第6節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
エ (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第8節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・ 廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・ 廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・ 運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・ 各処分場の現地確認写真
- ・ 建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・ マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・ 収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第9節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・ 当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・ 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・ 実施伝票は原本を提出すること。

第10節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・ 建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・ 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・ 特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・ 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・ 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。
(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。)

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～16に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.04
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.03（港湾工事を除く。）
エ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
オ 現場管理費	1.05（港湾工事を除く。）
カ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.05
イ 機械経費（賃料）	1.04
ウ 共通仮設費	1.04
エ 現場管理費	1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします
週休2日モデル工事 〇〇〇〇〇を なおしています
〇〇年〇〇月まで 時間帯〇:〇〇~〇:〇〇
〇〇〇〇工事
発注者 福山市 〇〇〇〇課 電話 000-000-0000
施工者 〇〇〇〇建設株式会社 電話 000-000-0000

② 建築工事

週休2日 モデル工事

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事 この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課 受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1H03 レベル1
耐震性貯水槽設置工	1	式			Y1H0301 レベル2
耐震性貯水槽設置工	1	式			Y1H030102 レベル3
耐震性貯水槽 【貯水施設の種類】	1	式			Y1H03010201 レベル4
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]		基			#0044
耐震性貯水槽（本体） KS40- -H型 相当品 輸送費含む	1	基			F000000001 00
作業土工	1	式			Y1H030107 レベル3
床掘り 【土質】	1	式			Y1H03010702 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り(表面掘削) 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			SPK23040015 00 単第0 -0001 表
床掘り(沈下掘削:機械) クラムシェル0.6m3 礫交じり粘性土	30	m3			F0000000006 00
床掘り(沈下掘削:人力) 土砂 現場制約あり	10	m3			SPK23040015 00 単第0 -0002 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1H03010703レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK23040020 00 単第0 -0003 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1H03010712レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	60	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分		m3			Y1G01021003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
投棄料					T9003 00
本体工	60	m3			Y1H030108 レベル3
側版工	1	式			Y1H03010801 レベル4
側版工		式			V0003 00
頂版工	1	式			単第0 -0005 表 Y1H03010801 レベル4
頂版工		式			V0004 00
底版工	1	式			単第0 -0006 表 Y1H03010801 レベル4
底版工		式			V0005 00
人孔工及びピット工	1	式			単第0 -0008 表 Y1H03010801 レベル4
		式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人孔工及びピット工					V0006 00
	1	式			単第0 -0011 表
現地塗装工					Y1H030108 レベル3
	1	式			
内面塗装工					Y1H03010801 レベル4
		式			
内面塗装工					V0009 00
	21	m2			単第0 -0012 表
外面塗装工					Y1H03010801 レベル4
		式			
外面塗装工					V0010 00
	9	m2			単第0 -0013 表
舗装工					Y1G010302 レベル3
	1	式			
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1G01030208 レベル4
		m2			
上層路盤(車道・路肩部) 粒度調整・路盤材(各種) 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK23040234 00
	101	m2			単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G01030211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	101	m2			SPK23040241 00 単第0 -0015 表
区画線工					Y1G020901 レベル3
	1	式			
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			Y1A01111701 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm					SDT00001 00
	28	m			単第0 -0016 表
標識工					Y1H030108 レベル3
	1	式			
標識設置工					Y1H03010803 レベル4
		式			
標識設置工					V0012 00
	1	基			単第0 -0017 表
構造物撤去工					Y1H0312 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y1H031205 レベル3
	1	式			
舗装版切断 【舗装版種別, 舗装厚】					Y1G01030201 レベル4
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK23040306 00
	9	m			単第0 -0020 表
舗装版破碎 【舗装版種別, 舗装版厚】					Y1G01030202 レベル4
		m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下					SPK23040305 00
	100	m2			単第0 -0021 表
殻運搬 【殻種別】					Y1G01030205 レベル4
		m3			
殻運搬 舗装版破碎 D1D区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)					SPK23040152 00
	5	m3			単第0 -0022 表
殻処分 【殻種別】					Y1G01030206 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	12	t			T9006 00
仮設工					Y1E0115 レベル2
水替工	1	式			Y1E011520 レベル3
水替工	1	式			Y1H03010801 レベル4
水替工		式			V0008 00
	1	式			単第0 -0023 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

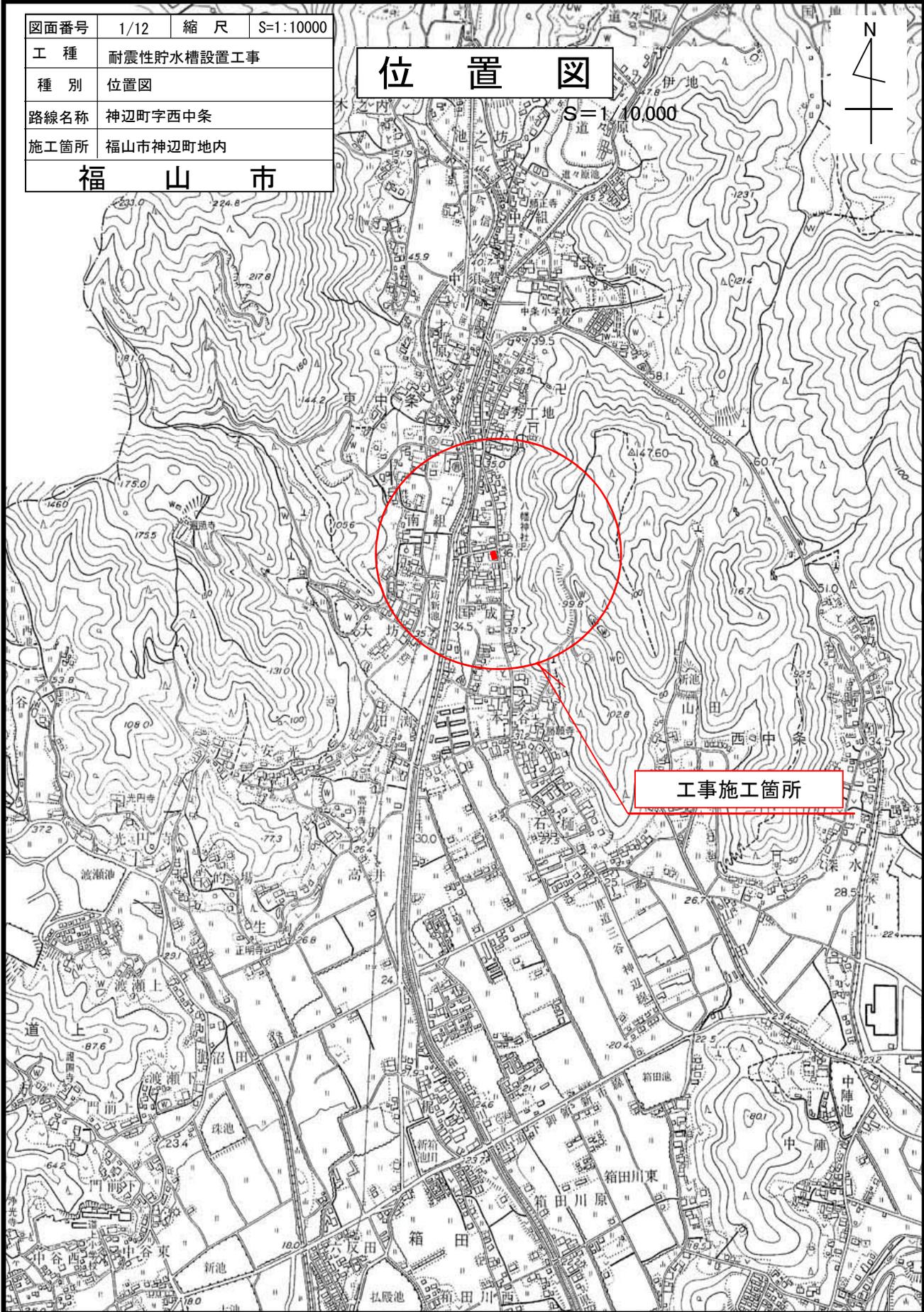
本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

図面番号	1/12	縮尺	S=1:10000
工種	耐震性貯水槽設置工事		
種別	位置図		
路線名称	神辺町字西中条		
施工箇所	福山市神辺町地内		
福山市			

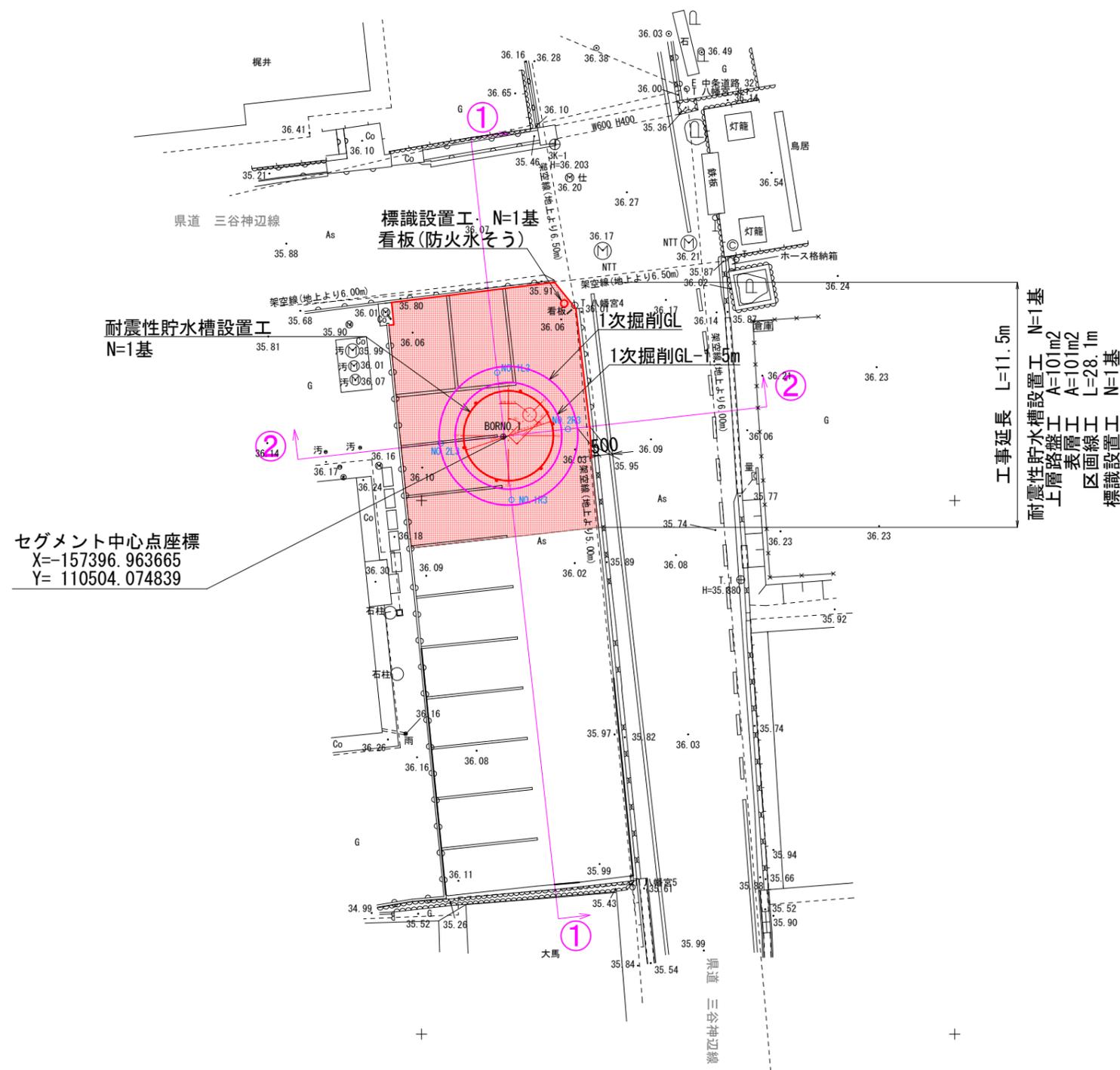
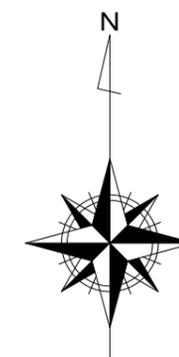
位置図

S=1/10,000



工事施工箇所

平面図
S=1:250



セグメント中心点座標
X=-157396.963665
Y= 110504.074839

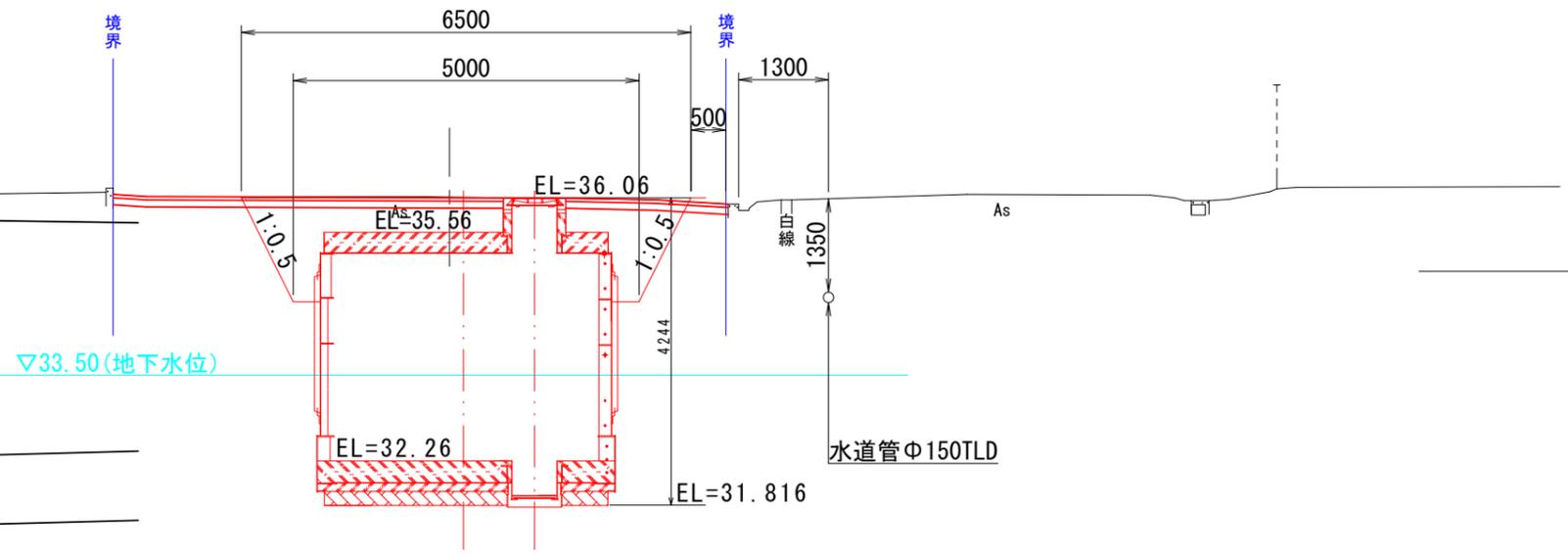
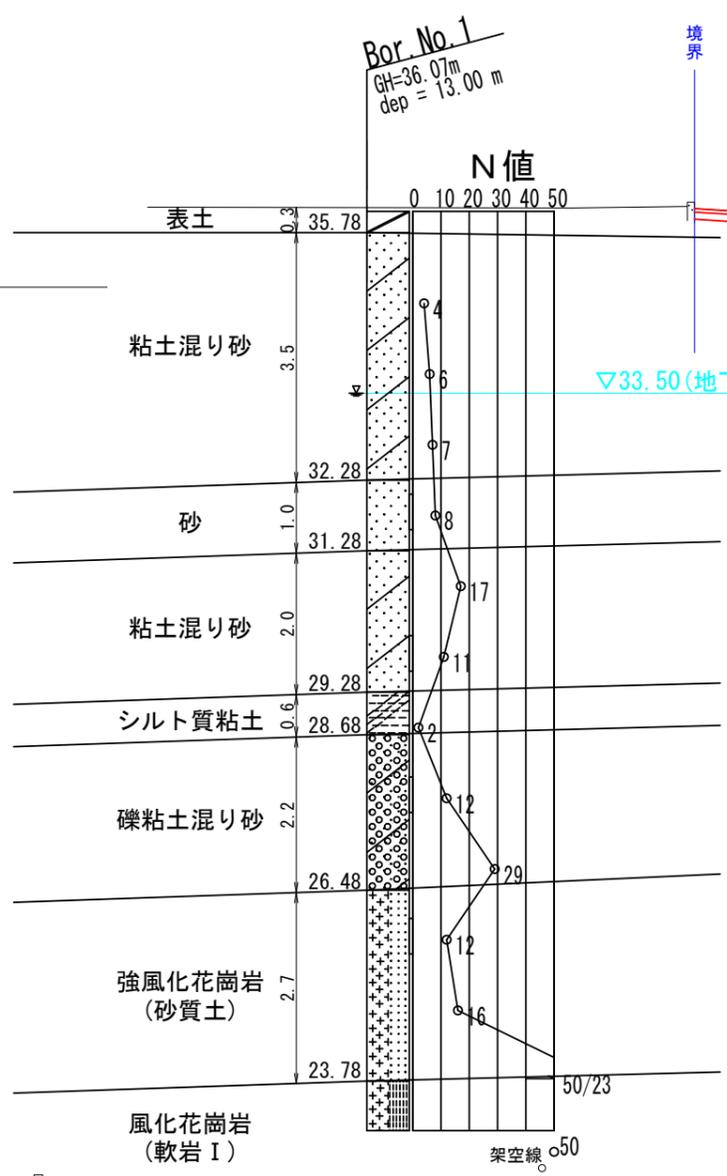
工事延長 L=11.5m
耐震性貯水槽設置工 N=1基
上層路盤工 A=101m²
表層工 A=101m²
区画線工 L=28.1m
標識設置工 N=1基

工事名	耐震性貯水槽設置工事（神辺町字西中条）		
図面名	平面図		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	1:250	図面番号	2 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

横断図
S=1:100

②-②

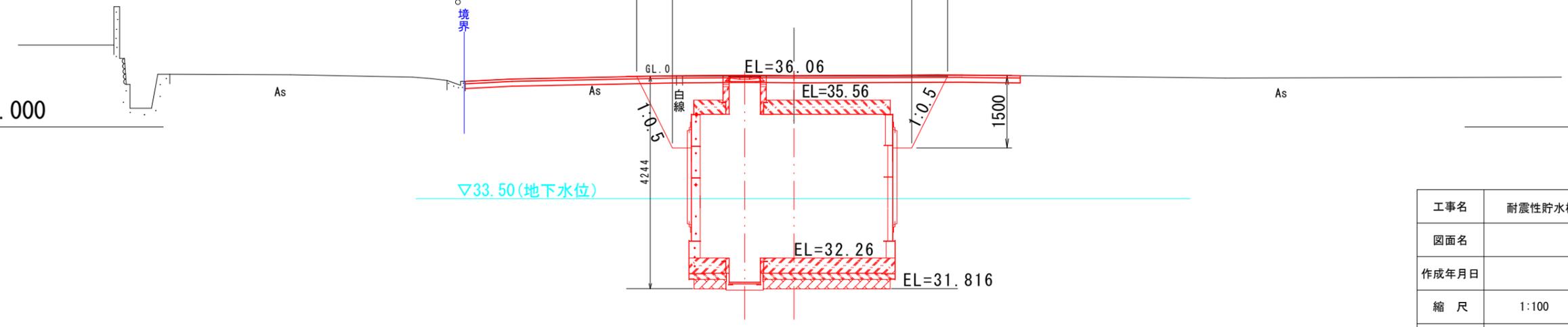
GH=36.07
FH=



①-①

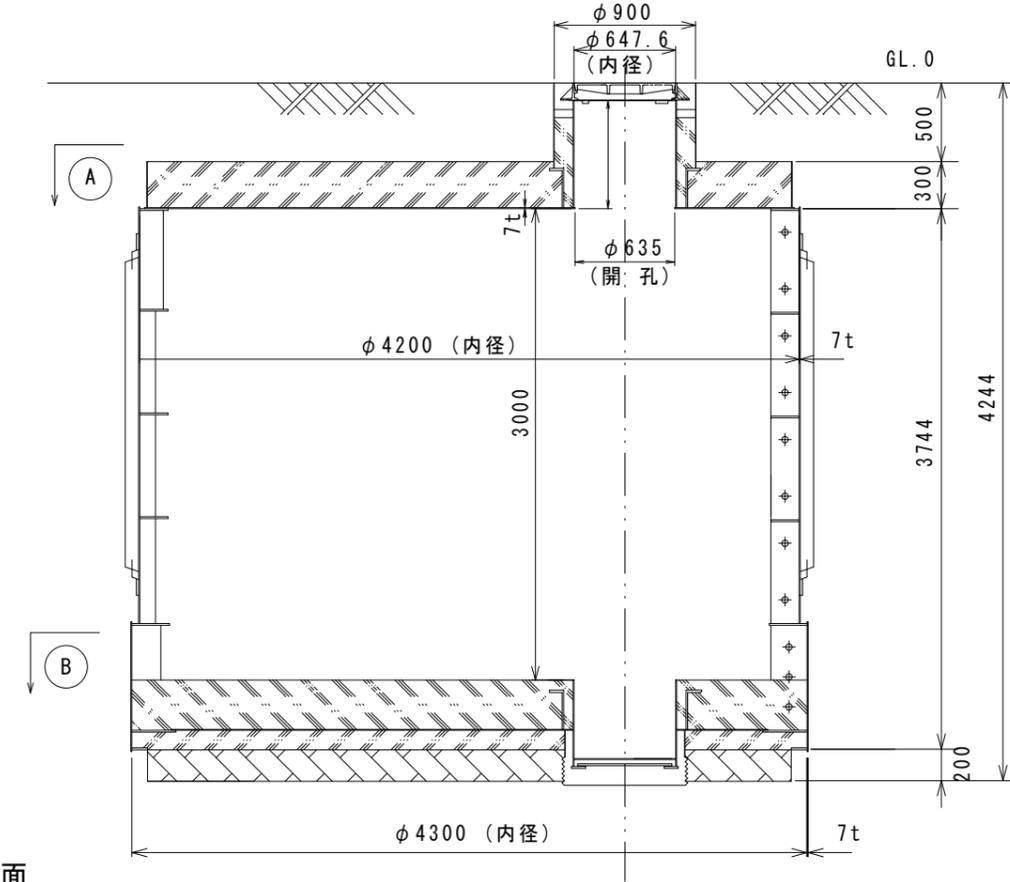
GH=36.07
FH=

DL=35.000



工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	横断図		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	1:100	図面番号	3 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

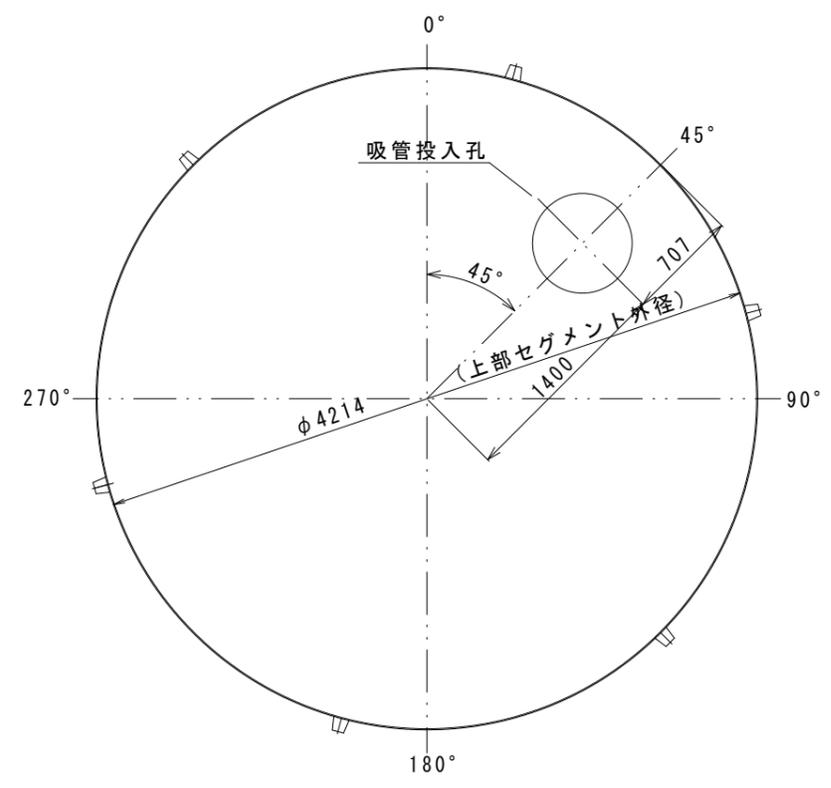
断面図



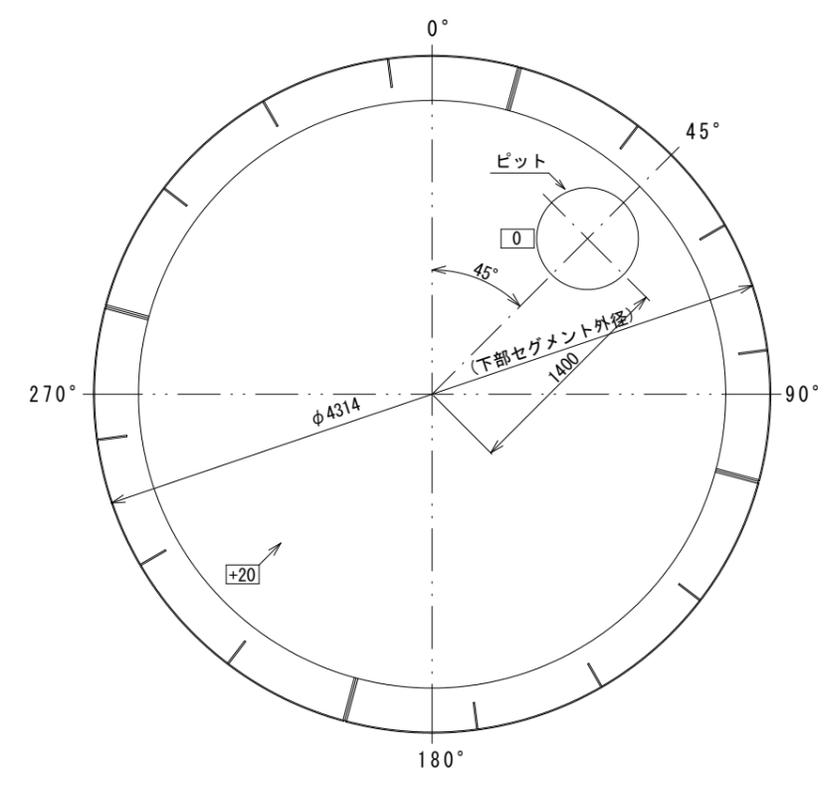
項目	サイズ (内径 x 高さ)	容積 (m ³)
上部セグメント	φ4200 x 2640	36.57
下部セグメント	φ4300 x 360	5.23
内部部材		△0.23
容積総合計		41.57m ³

名称	材質	厚
内部塗装	ハイソリッド変性エポキシ樹脂系 (ライトグレー)	250μ
外部塗装	ハイソリッド変性エポキシ樹脂系 (ライトグレー)	250μ
内部取合部	コーキング (硬質シリコン樹脂系)	

A断面



B断面



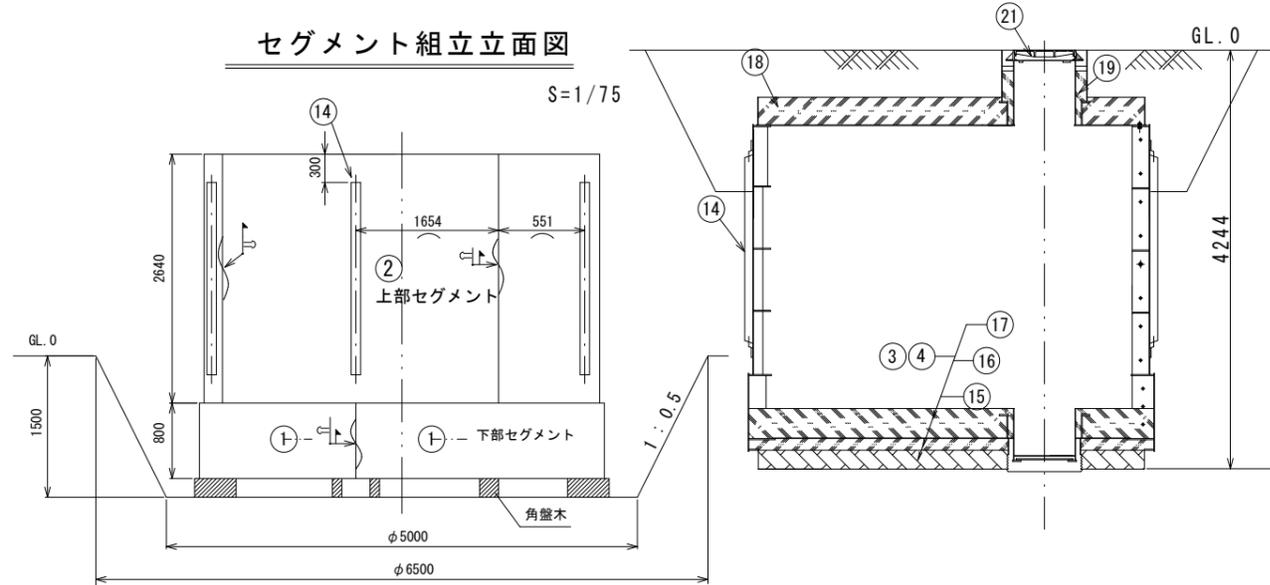
工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	貯水槽詳細図 (1/6) 完成図		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	1:45	図面番号	4 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

断面図

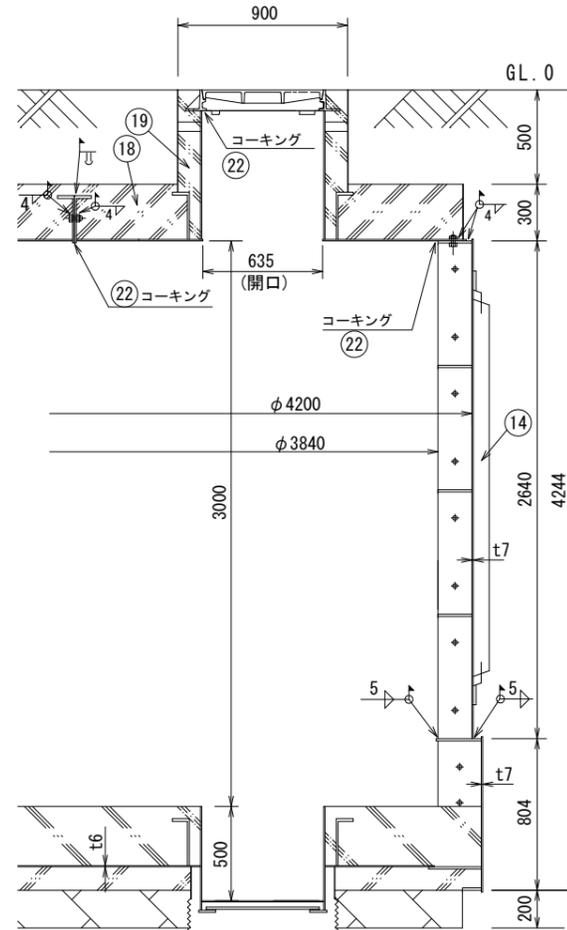
S=1/75

セグメント組立立面図

S=1/75

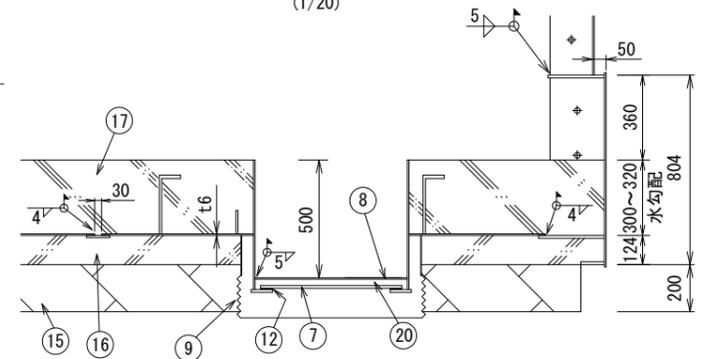


"A"断面詳細図



集水ピット詳細図

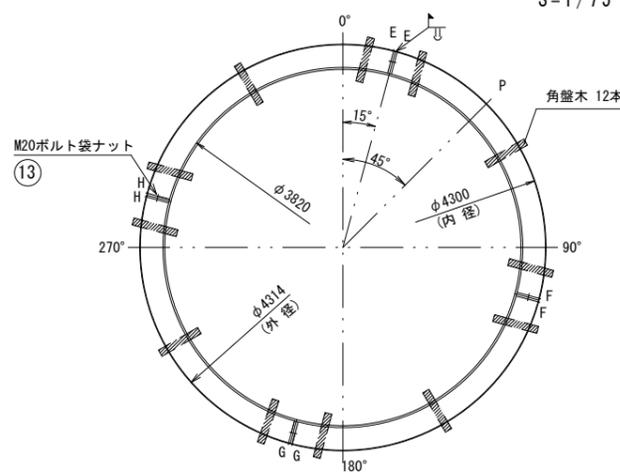
(1/20)



総重量 ①~⑭ 8206.4 kg

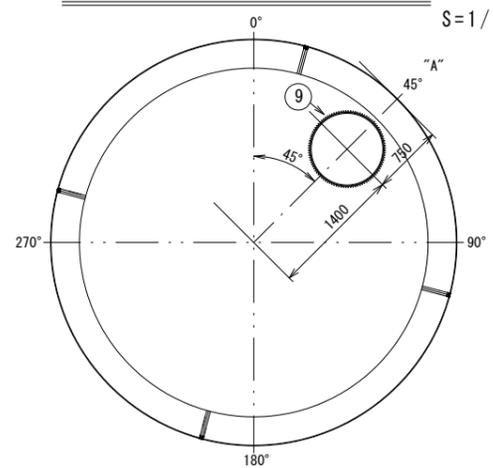
① 下部セグメント組立平面図

S=1/75



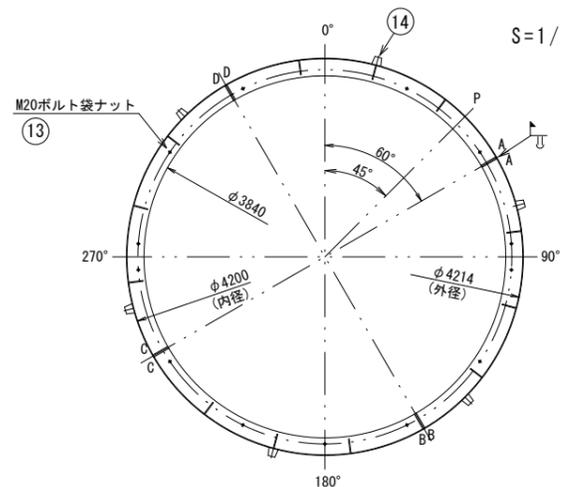
⑨ 基礎砕石止め据付平面図

S=1/75



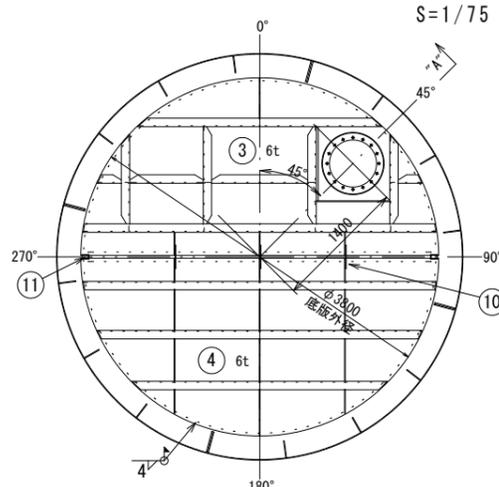
② 上部セグメント組立平面図

S=1/75



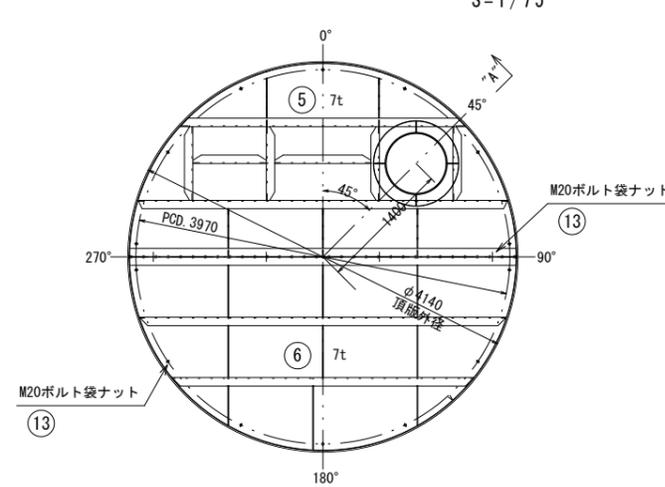
③ ④ 底版組立平面図

S=1/75



⑤ ⑥ 頂版組立平面図

S=1/75



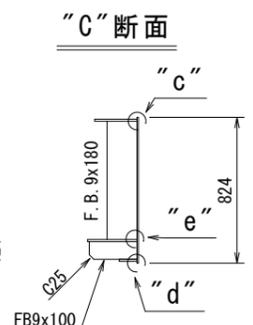
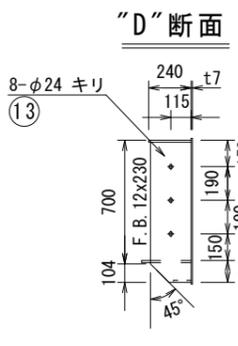
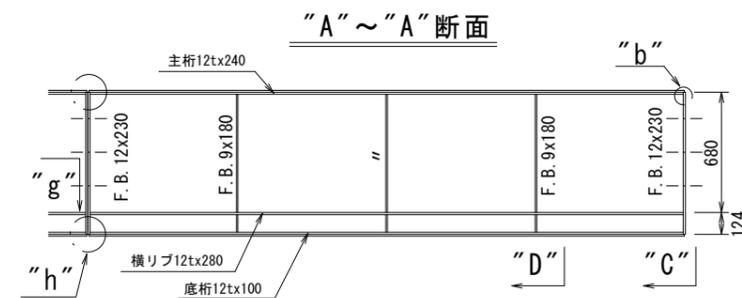
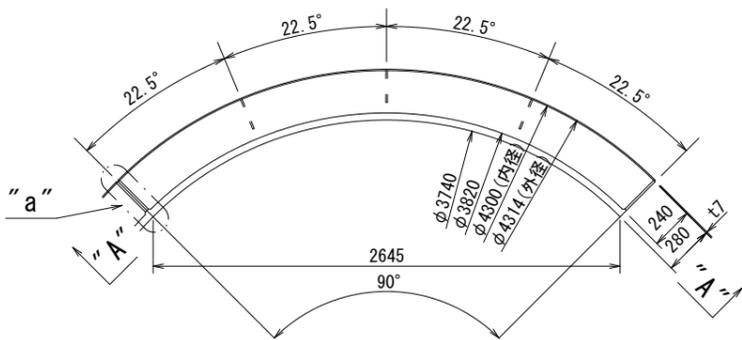
符号	名称	材質	数量	単重	重量	備考
②②	コーキング		17.9			硬質シリコン樹脂系
②①	人孔蓋	F.C.D.	1			
②⑩	ドライモルタル		0.03			ピット
②⑨	第4回 コンクリート	N/mm ² 18以上	0.15			吸管投入孔
②⑧	第3回		3.72			頂版
②⑦	第2回		4.53			底版
②⑥	第1回 コンクリート	N/mm ² 18以上	1.68			底版
②⑤	基礎砕石 (RC-40)		2.54			
②④	電気防蝕用 マグネシウム陽極棒		6	7.6	45.6	
②③	M20x45 ボルト、袋ナット		44	0.2	8.8	亜鉛メッキ
②②	M20x40 ボルト、袋ナット		18	0.2	3.6	亜鉛メッキ
②①	ピット用 パッキン	天然ゴム	1			
②⑩	底版用 塞ぎ板	NK-KAM SS400	2	0.3	0.6	
②⑨	底版用 繋ぎ板		3	1.8	5.4	
②⑧	基礎砕石止め		1	14.1	14.1	
②⑦	ピット用 塞ぎ板		1	15.3	15.3	上蓋
②⑥	ピット用 塞ぎ板		1	30.0	30.0	下蓋
②⑤	頂版		1	780.0	780.0	
②④	頂版 (吸管投入孔付)		1	997.2	997.2	
②③	底版		1	586.3	586.3	
②②	底版 (ピット付)		1	721.5	721.5	
②①	上部セグメント		4	844.9	3379.6	
②①	下部セグメント	NK-KAM SS400	4	404.6	1618.4	

土被り範囲 : I型 = 0.5m ~ 1.7m
II型 = 0.5m ~ 1.2m

工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	貯水槽詳細図 (2/6) 組立施工図		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

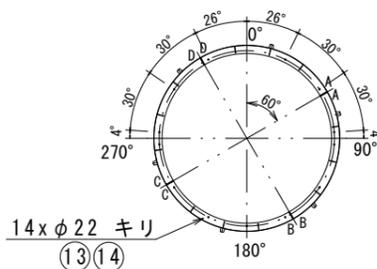
① 頂版平面

(下部セグメント) S=1/40

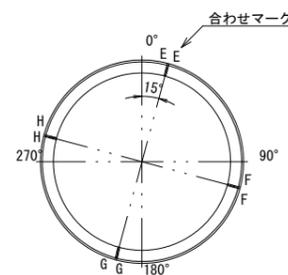


① 上部セグメント組立平面図

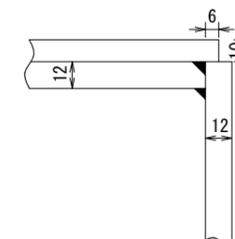
(ボルト孔配置図)



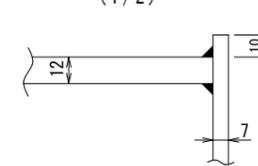
② 下部セグメント組立平面図



"b" 詳細 (1/2)

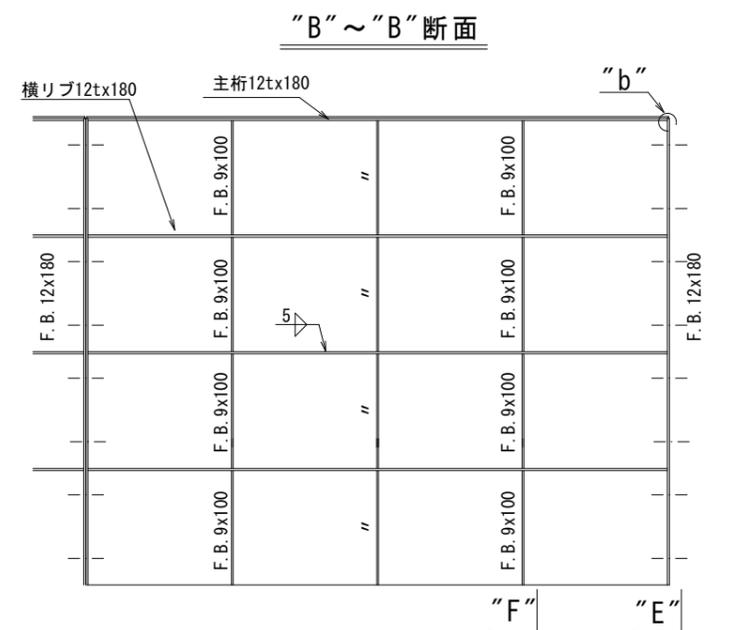
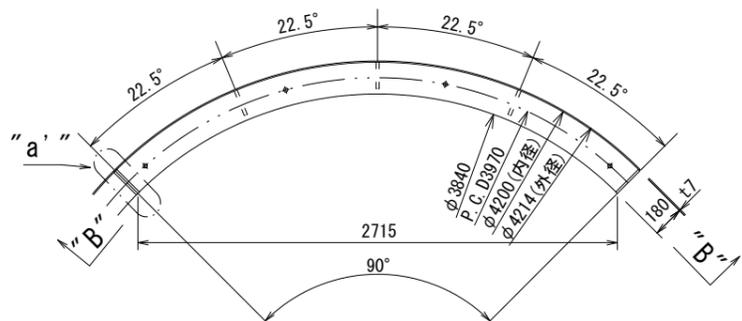


"c" 詳細 (1/2)

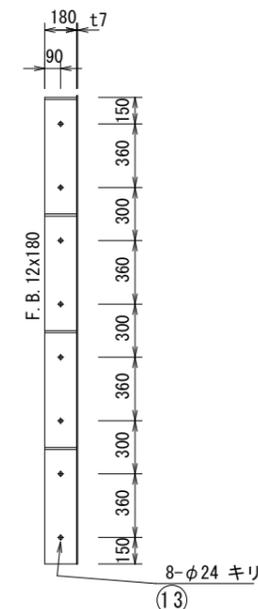


② 頂版平面

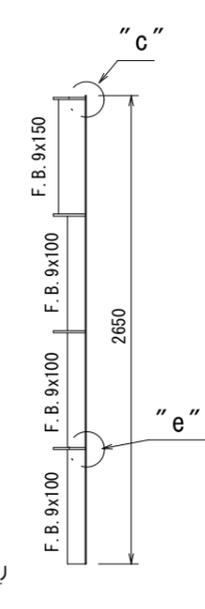
(上部セグメント) S=1/40



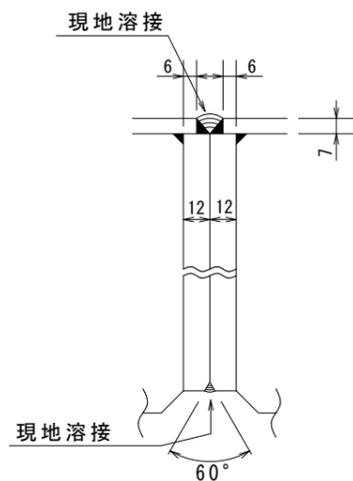
"E" 断面



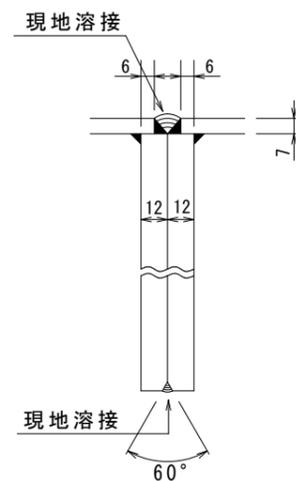
"F" 断面



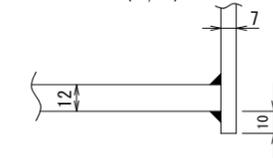
"a" 詳細 (1/2)



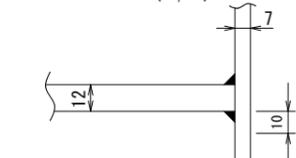
"a'" 詳細 (1/2)



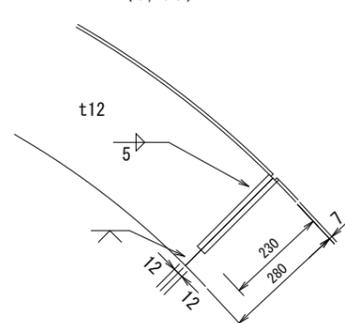
"d" 詳細 (1/2)



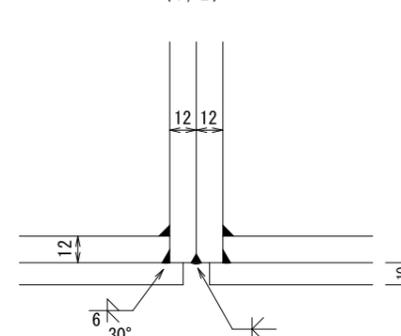
"e" 詳細 (1/2)



"g" 詳細 (1/10)



"h" 詳細 (1/2)



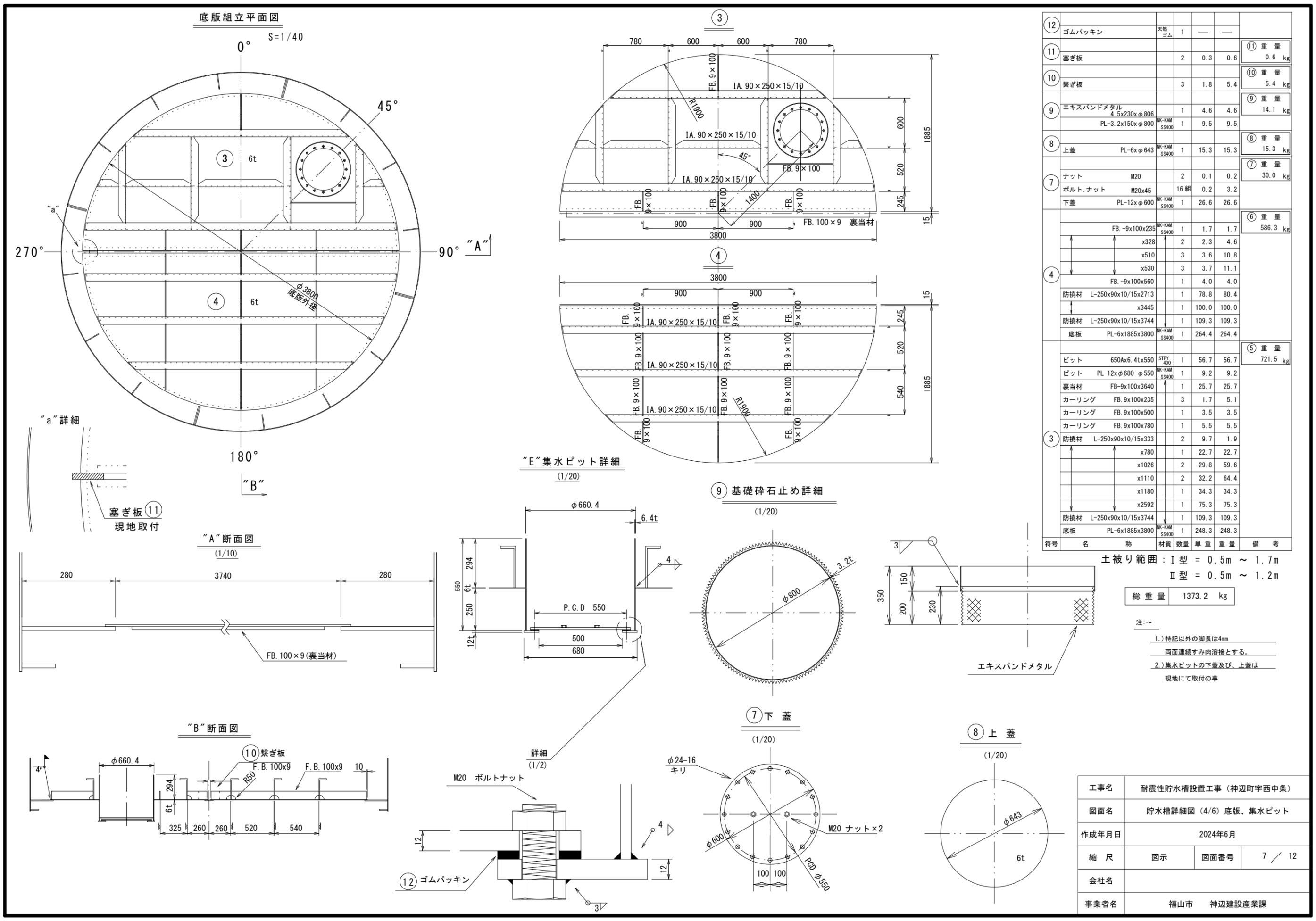
- 注: ~
- 1.) 特記以外の脚長は4mm
面連続すみ肉溶接とする。
 - 2.) ①② セグメントは4組分を示す。
 - 3.) 0° マーキング及び栗石止めセット用
マーキングを行うこと。

総重量 5006.8 kg

符号	名称	材質	数量	単重	重量	備考
13	ボルト・袋ナット M20x45		44 組	0.2	8.8	⑬ 重量 8.8 kg
2	縦リブ FB.-9x150x648	NK-KAM SS400	3x4	6.9	82.8	② 重量 844.9x4 kg 3379.6 kg
	縦リブ FB.-9x100x648		9x4	4.6	165.6	
	主桁 横リブ PL-12x180xφ4200/4		4x4	53.1	849.6	
	継手板 FB.-12x180x2640		2x4	44.7	357.6	
	側板 PL-7x2650x3292	NK-KAM	1x4	481.0	1924.0	
1	ブラケット PL-9x100x270	NK-KAM SS400	3x4	1.9	22.8	① 重量 404.6x4 kg 1618.4 kg
	縦リブ FB.-9x180x668		3x4	8.5	102.0	
	底桁 PL-12x100xφ4300/4		1x4	31.3	124.0	
	横リブ PL-12x280xφ4300/4		1x4	82.7	330.8	
	主桁 横リブ PL-12x240xφ4300/4		1x4	71.5	286.0	
	継手板 FB.-12x230x804		2x4	17.4	139.2	
	側板 PL-7x824x3371	NK-KAM SS400	1x4	153.4	613.6	

土被り範囲: I型 = 0.5m ~ 1.7m
II型 = 0.5m ~ 1.2m

工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	貯水槽詳細図 (3/6) 側板		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		



⑫	ゴムパッキン	天然ゴム	1	—	—				
⑪	塞ぎ板		2	0.3	0.6	⑪ 重量	0.6 kg		
⑩	繋ぎ板		3	1.8	5.4	⑩ 重量	5.4 kg		
⑨	エキスバンドメタル 4.5x230xφ806		1	4.6	4.6	⑨ 重量	14.1 kg		
		PL-3.2x150xφ800 NK-KAM SS400	1	9.5	9.5				
⑧	上蓋	PL-6xφ643 NK-KAM SS400	1	15.3	15.3	⑧ 重量	15.3 kg		
⑦	ナット M20 ボルト・ナット M20x45		2	0.1	0.2	⑦ 重量	30.0 kg		
		PL-12xφ600 NK-KAM SS400	16組	0.2	3.2				
④	下蓋	PL-12xφ600 NK-KAM SS400	1	26.6	26.6	④ 重量	586.3 kg		
			FB.-9x100x235 NK-KAM SS400	1	1.7			1.7	
			x328	2	2.3			4.6	
			x510	3	3.6			10.8	
			x530	3	3.7			11.1	
			FB.-9x100x560	1	4.0			4.0	
③	防塊材	L-250x90x10/15x2713	1	78.8	80.4	③ 重量	721.5 kg		
④	防塊材	L-250x90x10/15x3744	1	109.3	109.3				
			x3445	1	100.0			100.0	
④	底板	PL-6x1885x3800 NK-KAM SS400	1	264.4	264.4				
			ビット	650Ax6.4tx550 STPY-400	1			56.7	56.7
③	防塊材	L-250x90x10/15x3333	1	9.2	9.2	③ 重量	721.5 kg		
			x780	1	22.7			22.7	
			x1026	2	29.8			59.6	
			x1110	2	32.2			64.4	
			x1180	1	34.3			34.3	
			x2592	1	75.3			75.3	
			防塊材	L-250x90x10/15x3744	1			109.3	109.3
			底板	PL-6x1885x3800 NK-KAM SS400	1			248.3	248.3

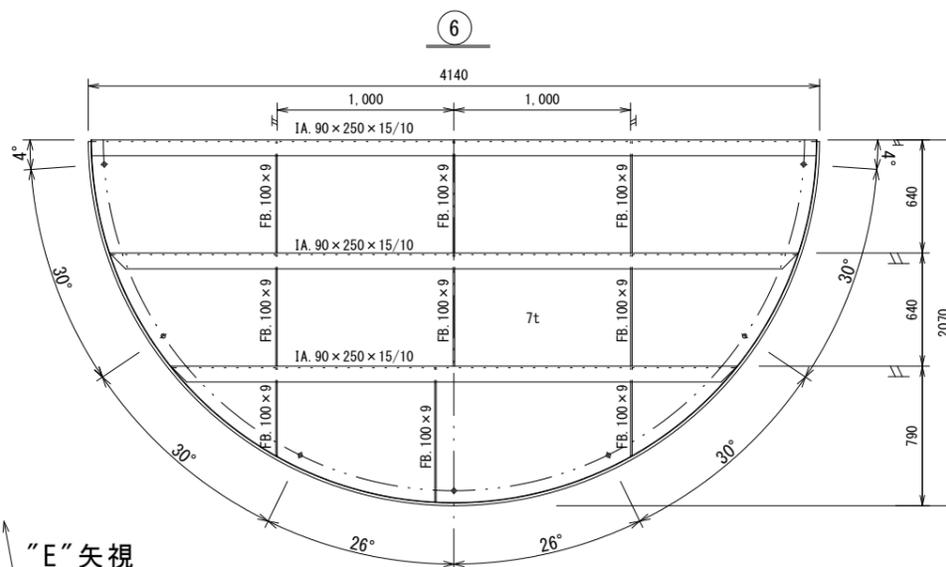
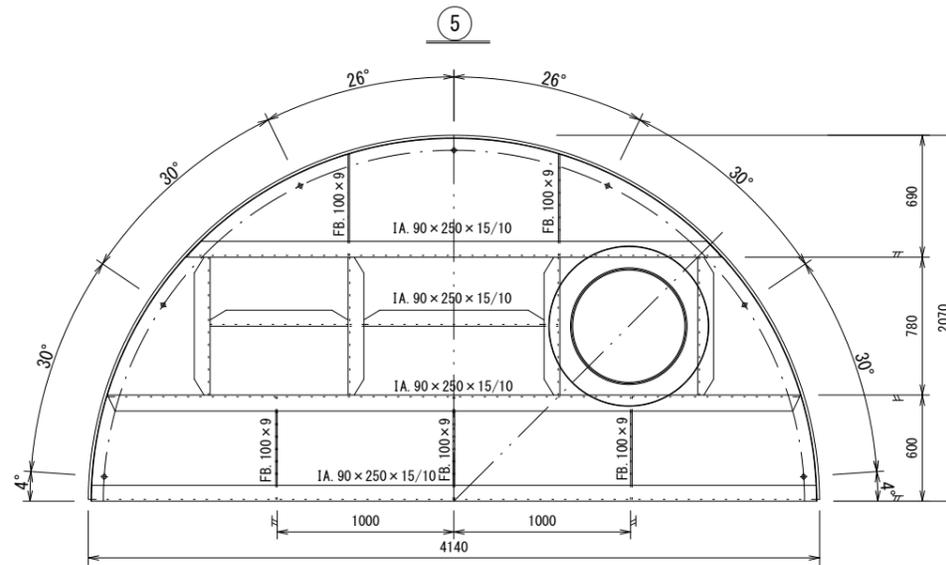
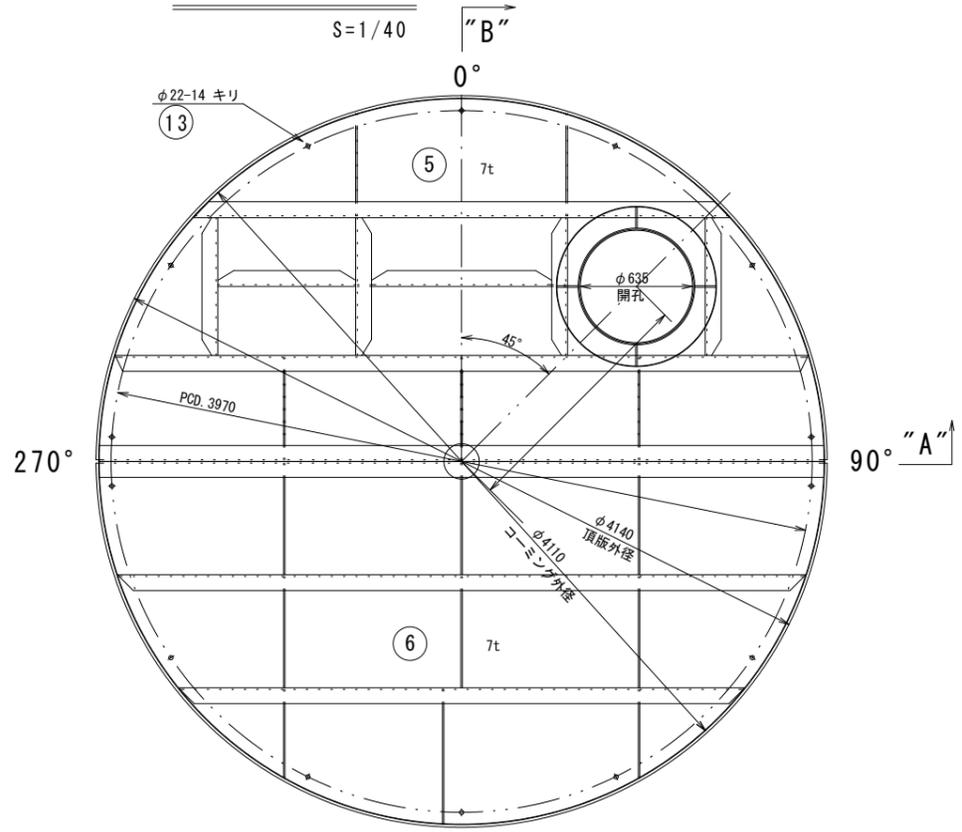
土被り範囲: I型 = 0.5m ~ 1.7m
II型 = 0.5m ~ 1.2m

総重量 1373.2 kg

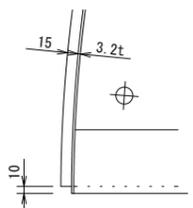
- 注: ~
- 1.) 特記以外の脚長は4mm
 - 2.) 両面連続すみ肉溶接とする。
 - 3.) 集水ピットの底蓋及び、上蓋は現地にて取付の事

工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	貯水槽詳細図 (4/6) 底板、集水ピット		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

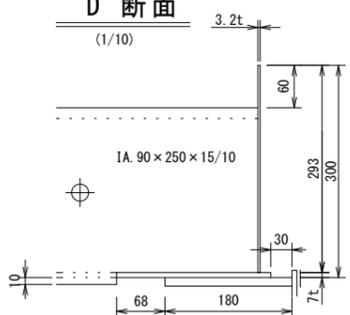
頂版組立平面図



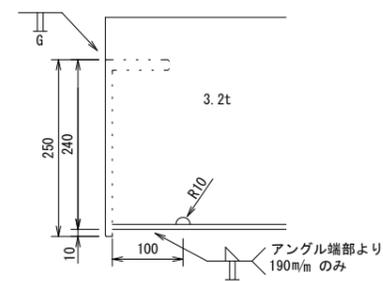
“C”矢視
(1/10)



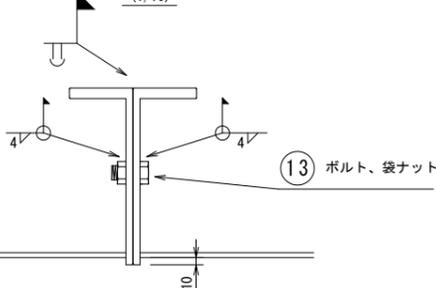
“D”断面
(1/10)



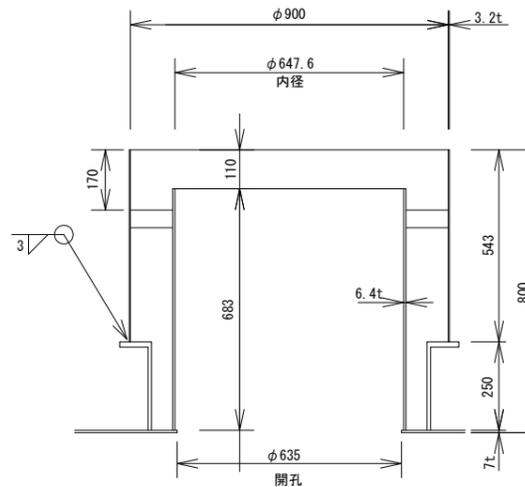
“E”矢視
(1/10)



“a”詳細
(1/10)



吸管投入孔詳細
(1/20)



注:~

- 1.) 特記以外の脚長は4mm
- 面連続すみ肉溶接とする。

総重量 1783.0 kg

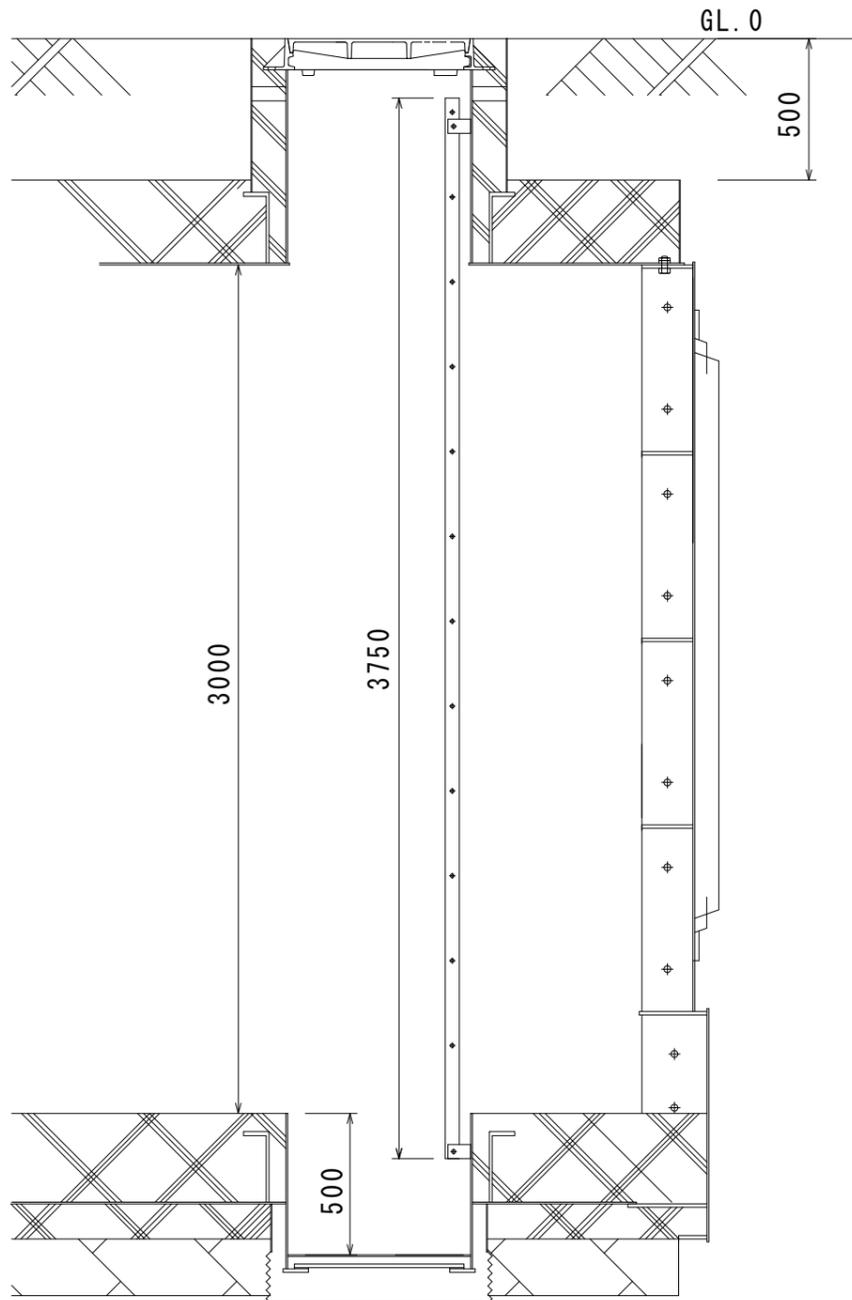
符号	名称	材質	数量	単重	重量	備考	
⑬	M20x40 ボルト、袋ナット		18	0.2	3.6	⑬ 重量 3.6 kg	
④	カーリング	FB.-9x100x512	NK-KAM SS400	2	3.5	7.0	④ 重量 780.0 kg
		x759		1	5.4	5.4	
⑥	カーリング	FB.-9x100x630		6	4.5	27.0	⑥ 重量 997.2 kg
	コーミング	PL-3. 2x293x6451		1	47.5	47.5	
⑤	防撓材	L-250x90x10/15x3207		1	93.1	93.1	⑤ 重量 997.2 kg
	防撓材	L-250x90x10/15x3899		1	113.2	113.2	
⑤	防撓材	L-250x90x10/15x4104		1	119.2	119.2	⑤ 重量 997.2 kg
	頂板	PL-7x2070x4140	NK-KAM SS400	1	367.6	367.6	
⑤	吸管投入孔	6. 4t x 650A x 683	STPY 400	1	70.3	70.3	⑤ 重量 997.2 kg
		FB.-6x50x120	NK-KAM SS400	4	0.3	1.2	
⑤	吸管投入孔	PL-3. 2xφ900x543		1	38.5	38.5	⑤ 重量 997.2 kg
	カーリング	PL-3. 2x293x6451		1	47.5	47.5	
⑤	カーリング	FB.-9x100x572		2	4.0	8.0	⑤ 重量 997.2 kg
	カーリング	FB.-9x100x580		3	4.1	12.3	
⑤	防撓材	L-250x90x10/15x780		5	22.7	113.5	⑤ 重量 997.2 kg
		x1180		1	34.3	34.3	
⑤		x3037		1	88.2	88.2	⑤ 重量 997.2 kg
		x3924		1	114.0	114.0	
⑤	防撓材	L-250x90x10/15x4104		1	119.2	119.2	⑤ 重量 997.2 kg
	頂板	PL-7x2070x4140		1	350.2	350.2	

土被り範囲: I型 = 0.5m ~ 1.7m
II型 = 0.5m ~ 1.2m

工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	貯水槽詳細図 (5/6) 頂版、吸管投入孔		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

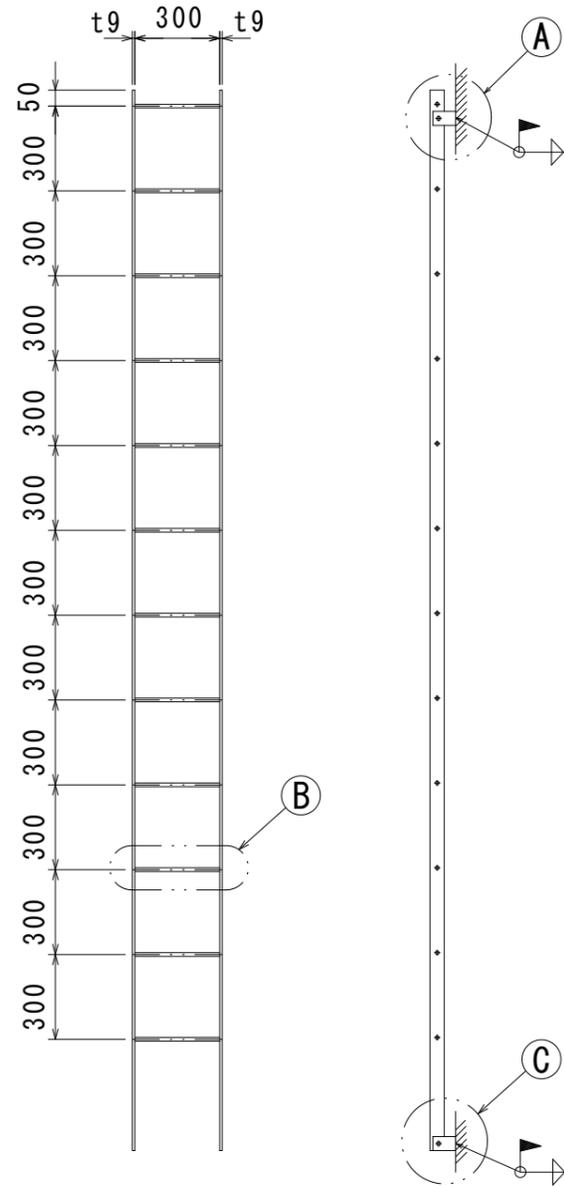
取付図

S=1/30



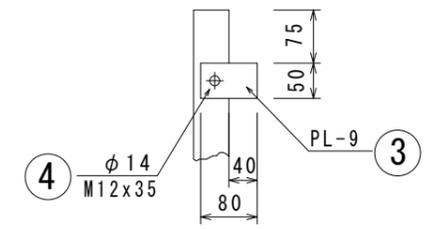
製作図

S=1/30



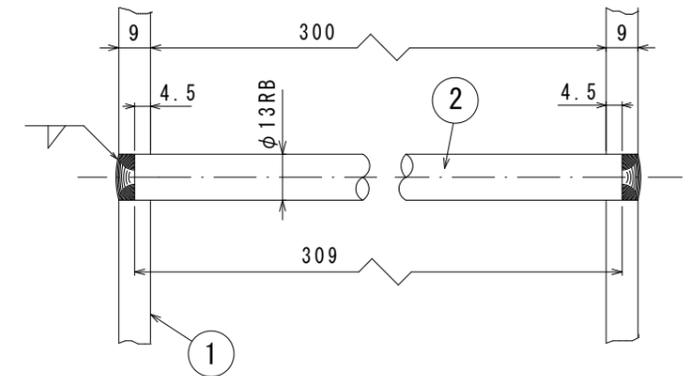
① 詳細

S=1/10



② 詳細

S=1/2

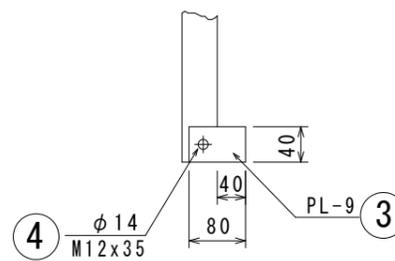


総重量 31.6 kg

符号	名 称	材質	数量	単重	重量	備考
④	ボルト, ナット, S.W. (M12)	SUS 304	4 組			
③	取付ピース	PL-9	4	0.3	1.2	
②	丸棒 φ13 R.B.		12	0.3	3.6	
①	本体	FB. 9x50 SUS 304	2	13.4	26.8	

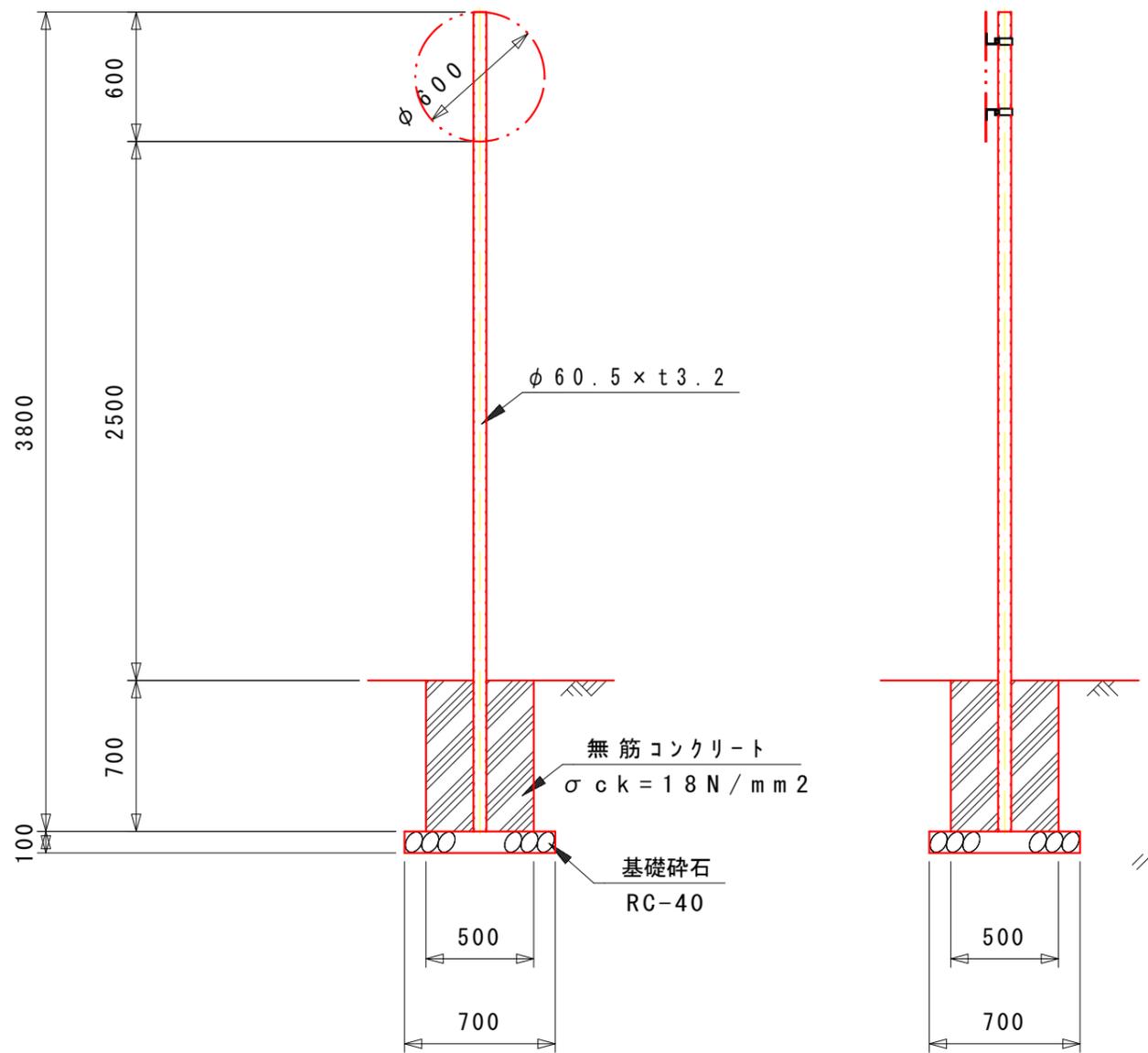
③ 詳細

S=1/10



工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	貯水槽詳細図 (6/6) ステンレス製昇降梯子		
作成年月日	2024年6月		
縮 尺	図示	図面番号	9 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

防火水槽看板
S=1:30

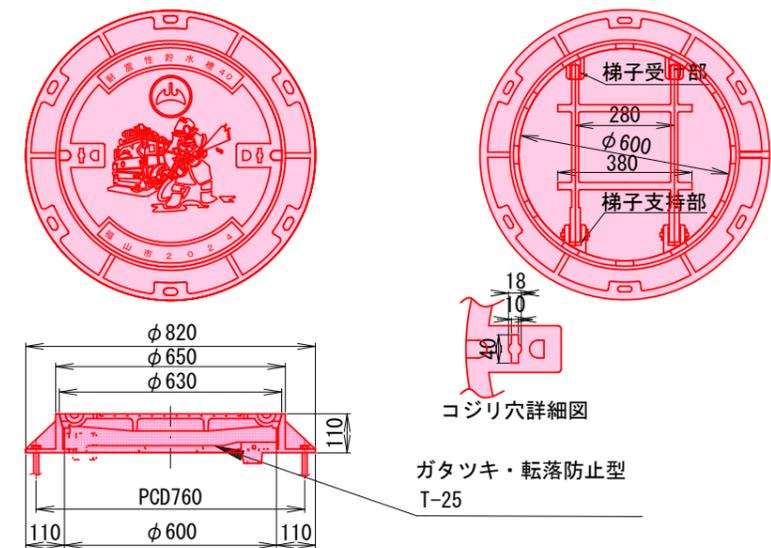


防火水槽看板		1基当り
種別	規格	数量
看板本体	支柱、板面	1.0 組
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.14 m ³
円筒型枠	$\phi 500$	1.10 m ²
基礎碎石	RC-40, t=200mm	0.38 m ²
床掘		1.8 m ³
埋戻		1.6 m ³
基面整正		0.4 m ²

看板部
S=1:20



貯水槽鉄蓋
S=1:20

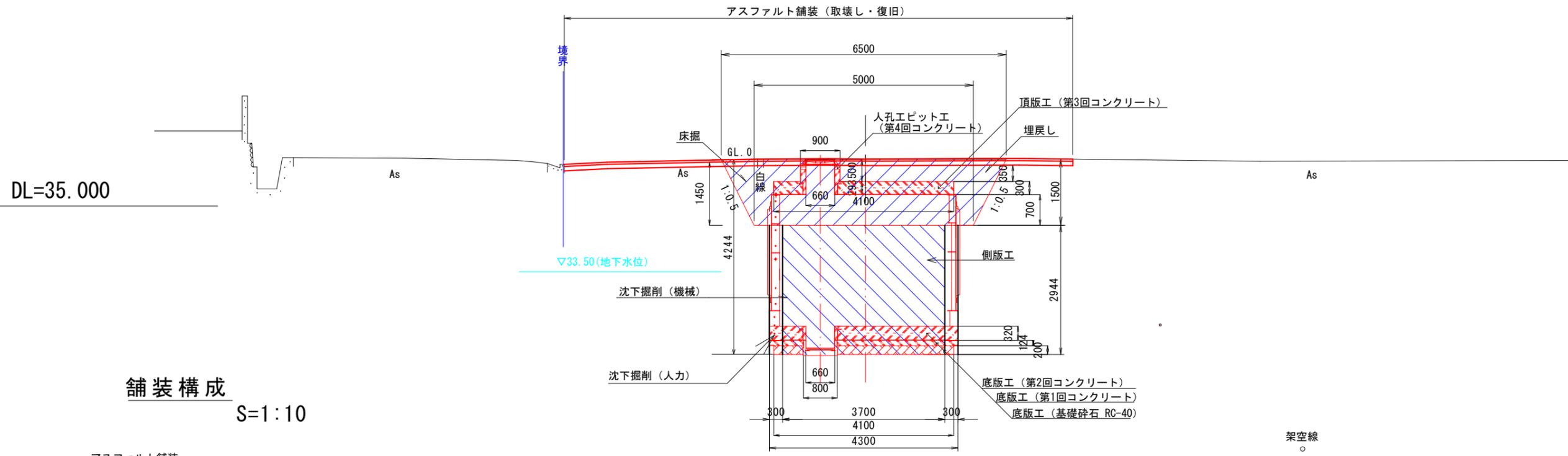


工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	看板構造図・鉄蓋構造図		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

土工横断図

S=1:100

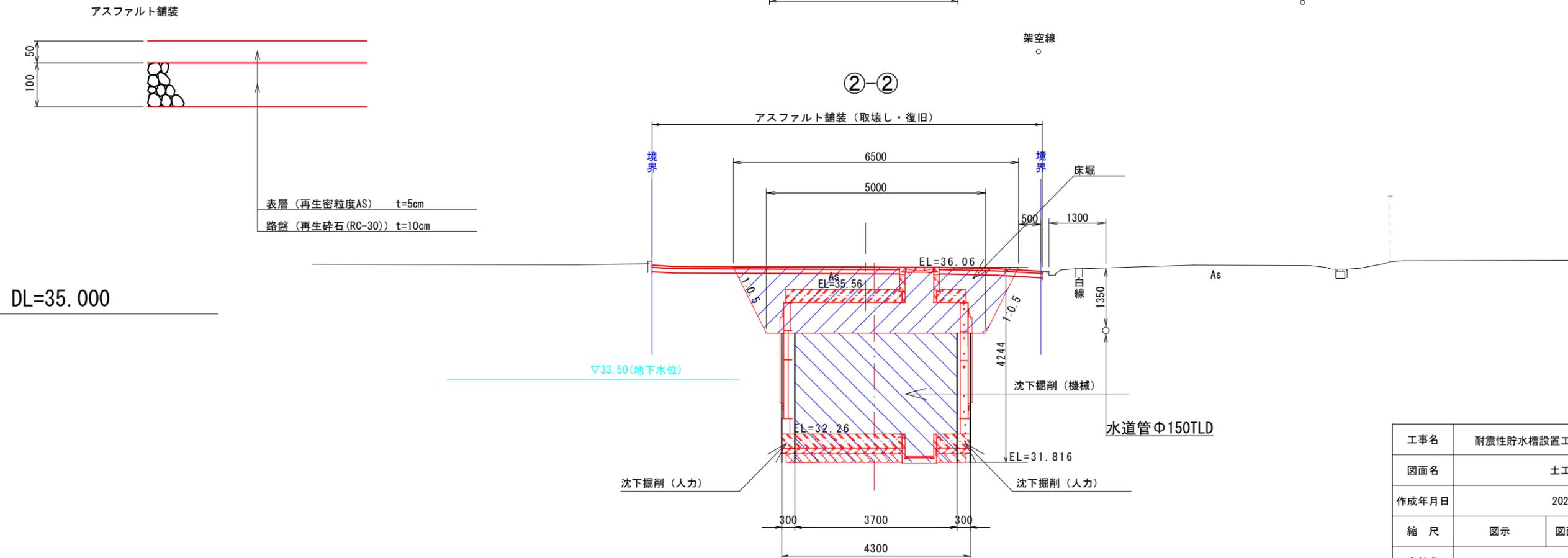
①-①



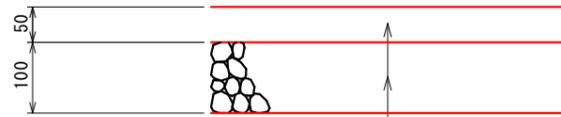
舗装構成

S=1:10

②-②



アスファルト舗装



表層 (再生密粒度AS) t=5cm

路盤 (再生砕石 (RC-30)) t=10cm

工事名	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)		
図面名	土工横断図		
作成年月日	2024年6月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

参考図書

施工単価表

床掘り(表面掘削)
土砂 上記以外(小規模)

SPK23040015

単第0 -0001 表

機械構成比: 20.81% 労務構成比: 71.39% 材料構成比: 7.80% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK23040020

単第0 -0003 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91% 労務構成比:

85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,655.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

831.32000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 距離4.0km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頂版工

V0004

単第0 -0006 表

頁0 -0007

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	3.7	m3			単第0-0007 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 10t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1次基準値)低騒音	1.0	日			
とび工	2.0	人			
普通作業員	1.0	人			
溶接工(材工共)	22.0	m			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量100kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.0	日			
コーキング工(材工共) 硬質シリコン樹脂系	15.9	m			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0007 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

底版工

V0005

単第0 -0008 表

頁0 -0009

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.5	m2			単第0-0009 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	6.2	m3			単第0-0010 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 10t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1次基準値)低騒音	0.5	日			
とび工	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
溶接工(材工共)	15.4	m			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量100kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.0	日			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

基礎砕石

SPK23040034

単第0 -0009 表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.22% 労務構成比:

67.59%

材料構成比: 27.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.19%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	32.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.14%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	7.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	22.33%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.83%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0010 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32% 労務構成比:

37.95% 材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

人孔工及びピット工

V0006

単第0 -0011 表

頁0 -0014

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.1	m3			単第0-0007 表
人孔鉄蓋(本体) 600 T-25 転落防止型 受枠含む	1.0	組			
人孔鉄蓋(設置手間)	1.0	組			
コーキング工(材工共) 硬質シリコン樹脂系	2.0	m			
普通作業員	1.0	人			
溶接工(材工共)	1.3	m			
<賃>溶接機械(エンジンウェルダ) 270A	1.0	日			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

内面塗装工

V0009

単第0 -0012 表

頁0 -0015

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗装工 塗装前処理工	6.2	人			
雑材料	7	%			#01
内面塗装材料 変性珪酸樹脂 ノバ2000 ライトグレー相当品	5.0	缶			
内面塗装材料 エポキシシンナーA相当品	1.0	缶			
塗装工	2.1	人			
雑材料	8	%			#02
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

外面塗装工

V0010

単第0 -0013 表

頁0 -0016

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗装工 塗装前処理工	3.1	人			
雑材料	5	%			#01
外面塗装材料 変性珪酸樹脂 ノバ2000 ライトグレー相当品	5.0	缶			
外面塗装材料 エポキシシンナーA相当品	1.0	缶			
塗装工	2.8	人			
雑材料	5	%			#02
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0017

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0014 表

粒度調整・路盤材(各種)

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05%

労務構成比:

31.45%

材料構成比:

58.50%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

555.97000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.02%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.18%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0014 表

粒度調整・路盤材(各種)

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05%

労務構成比:

31.45%

材料構成比:

58.50%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

555.97000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 0~30mm	54.88%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0080 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=8 H=1 粒度調整・路盤材(各種) -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0015 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.63% 労務構成比: 10.57%

材料構成比: 87.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,536.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.12%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0015 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.63%

労務構成比: 10.57%

材料構成比: 87.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,536.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	79.45%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.66%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)
実線_15cm

SDT00001

単第0 -0016 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	46.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

舗装版切断

SPK23040306

単第0 -0020 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.05%

労務構成比:

55.50%

材料構成比: 38.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

580.65000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK23040305

単第0 -0021 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.20% 労務構成比:

82.23%

材料構成比: 8.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

176.64000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.20%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 45.57% 労務構成比: 37.51%

SPK23040152

DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)

材料構成比: 16.92% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0022 表

1

m3 当り

標準単価: 4,606.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.51%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5		計 算	計 上	
	工種	種別	細別	規格	単位	数 量	数 量	摘 要
	耐震性貯水槽設置工事 (神辺町字西中条)							
道路改良	耐震性貯水槽設置工							
		耐震性貯水槽設置工						
			耐震性貯水槽 (本体)		基	1.0	1	
		作業土工						
			床掘り	土砂 標準	m3	38.3	40	土工数量計算表
			沈下掘削 (機械)	土砂 掘削深さ5m超20m以下	m3	31.6	30	土工数量計算表
			沈下掘削 (人力)	土砂 現場制約あり	m3	11.1	10	土工数量計算表
			埋戻し	上記以外 (小規模)	m3	21.8	20	土工数量計算表
			土砂等運搬	小規模 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	m3	56.8	60	土工数量計算表
			残土等処分		m3	56.8	60	土工数量計算表
		本体内						
			側版工		式	1.0	1	本体内数量計算表
			頂版工		式	1.0	1	本体内数量計算表
			底版工		式	1.0	1	本体内数量計算表
			人孔工及びピット工		式	1.0	1	本体内数量計算表
		現地塗装工						
			内面塗装工		m2	21.3	21	現地塗装工数量計算表
			外面塗装工		m2	8.6	9	現地塗装工数量計算表
		舗装工						
			上層路盤	上層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工	m2	100.7	101	土工平面図
			表層	表層 (車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	m2	100.7	101	土工平面図
		区画線工						
			溶融式区画線	区画線設置 (溶融式) 実線_15cm	m	28.1	28	土工平面図
		標識工						
			標識設置工	標識版設置	基	1.0	1	平面図
	構造物撤去工							
		構造物撤去工						
			舗装版切断	アスファルト舗装版厚15cm以下	m	8.8	9	土工平面図
			舗装版破砕	障害無し 舗装版厚15cm以下	m2	101.3	100	土工平面図
		運搬処理工						
			殻運搬	アスファルト殻	m3	5.1	5	
			殻処分	アスファルト殻	t	11.9	12	5.1*2.35
	仮設工							
		水替工						
			水替工		式	1.0	1	

耐震性貯水槽製品明細

No.	品名	単量	数量	重量	備考
1	上部セグメント	844.9 kg	4 基	3379.6 kg	
2	下部セグメント	404.6 kg	4 基	1618.4 kg	
3	頂版(吸管投入孔付)	997.2 kg	1 基	997.2 kg	
4	頂版	780.0 kg	1 基	780.0 kg	
5	底版(ピット付)	721.5 kg	1 基	721.5 kg	
6	底版	586.3 kg	1 基	586.3 kg	
7	底版用塞ぎ板	0.3 kg	2 枚	0.6 kg	
8	ピット用繋ぎ板	1.8 kg	3 枚	5.4 kg	下蓋
9	ピット用塞ぎ板	30.0 kg	1 枚	30.0 kg	下蓋
10	ピット用塞ぎ板	15.3 kg	1 枚	15.3 kg	上蓋
11	ピット用パッキン		1 枚		570φ×5t
12	M20×45L ボルト・ナット	0.2 kg	44 組	8.8 kg	亜鉛メッキ
13	M20×40L ボルト・ナット	0.2 kg	18 組	3.6 kg	亜鉛メッキ
14	電気防蝕用 マグネシウム陽極棒	7.6 kg	6 本	45.6 kg	MAGNAP M-56R200
	基礎碎石止め	14.1 kg	1 個	14.1 kg	
15	SUS梯子	31.6 kg	1 本	31.6 kg	
総重量				8238.0 kg	

注). タッチアップ用塗料及びマンホール用鉄蓋は現地工事に含まれます。

本土工数量計算表

現地溶接の図面溶接長
《A》

1/3

1) 下向水平隅肉

1. 側版工	(イ)上・下部セグメント 接合円周部(外)	4.2	×	π	=	13.2 m
	(ロ) " " (内)	4.2	×	π	=	13.2 m
	(イ) 溶接線部	0.1	×	2	×	12ヶ所= 2.4 m
		0.18	×	2	×	4ヶ所= 1.4 m
						小計 30.2 m

2. 底版工	(イ)外 周	3.8	×	π	=	11.9 m
	(ロ)塞ぎ板	(0.05 + 0.075)	×	2	×	2 = 0.5 m
						小計 12.4 m

3. 頂版工	(イ)外 周	4.14	×	π	=	13.0 m
	(ロ)ボルト	1.5	cm×	6	×	22 = 198 cm= 2.0 m
						小計 15.0 m

4. 人孔工ピット工		0.647	×	π	=	2.0 m
						小計 2.0 m

2) 下 向

1. 側版工	(イ)上部セグメント 頂版接合部	0.18	×	4	=	0.7 m
	(ロ)下部セグメント "	0.24	×	4	=	1.0 m
						小計 1.7 m

2. 底版工	中心線	3.8	×	2	=	7.6 m
						小計 7.6 m

2. 頂版工	中心線	4110	mm-	3.2	mm×	2 = 4104 mm= 4.1 m
						小計 4.1 m

3) 立 向

1. 側版工	(イ)上下セグメント 接合線 (外)	(2.64 + 0.8)	×	4	=	13.8 m
	(ロ) " " (内)	(2.64 + 0.8)	×	4	=	13.8 m
	(ハ)電気陽極棒	(5	cm+	5	cm+	1 cm) × 2
			×	6	=	132 cm = 1.3 m
						小計 28.9 m

3. 頂版工		(30	cm+	6	cm) × 2	= 72 cm= 0.7 m
						小計 0.7 m

4) 上 向

1. 側版工	(イ)下部セグメント 底部横リブ接合部	0.35	×	4.0	=	1.4 m
						小計 1.4 m

本体内数量計算表

現地溶接の換算溶接長
《B》

2/3

[図面溶接長] [換算値] [換算溶接長]

1) 下向水平隅肉					
1. 側版工	(イ)上・下部セグメント	接合円周部(外)	13.2	0.88	11.6
	(ロ)	" "	(内)	13.2	0.88
	(イ)	溶接線部	2.4	0.88	2.1
			1.4	1.28	1.8
				小計	27.1
2. 底版工					
	(イ)	外周	11.9	0.64	7.6
	(ロ)	塞ぎ板	0.5	0.96	0.5
				小計	8.1
3. 頂版工					
	(イ)	外周	13.0	0.64	8.3
	(ロ)	ボルト	2.0	2.4	4.8
				小計	13.1
4. 人孔工ピット工					
			2.0	0.64	1.3
				小計	1.3
2) 下 向					
1. 側版工					
	(イ)	上部セグメント	頂版接合部	0.7	1.92
	(ロ)	下部セグメント	" "	1.0	1.92
				小計	3.2
2. 底版工					
		中心線	7.6	0.96	7.3
				小計	7.3
2. 頂版工					
		中心線	4.1	1.92	7.9
				小計	7.9
3) 立 向					
1. 側版工					
	(イ)	上下セグメント	接合線 (外)	13.8	2.88
	(ロ)	" "	(内)	13.8	2.88
	(ハ)	電気陽極棒	1.3	1.28	1.7
				小計	81.1
3. 頂版工					
			0.7	1.44	1.0
				小計	1.0
4) 上 向					
1. 側版工					
	(イ)	下部セグメント	底部横リブ接合部	1.4	3.94
				小計	5.5

《C》

1) 図面指示溶接長

	水平隅肉	下 向	立 向	上 向	計
側版工	30.2	1.7	28.9	1.4	62.2
底版工	12.4	7.6			20.0
頂版工	15.0	4.1	0.7		19.8
人孔工ピット工	2.0				2.0
計	59.6	13.4	29.6	1.4	104.0

2) 換算溶接長

	水平隅肉	下 向	立 向	上 向	計
側版工	27.1	3.2	81.1	5.5	116.9
底版工	8.1	7.3			15.4
頂版工	13.1	7.9	1.0		22.0
人孔工ピット工	1.3				1.3
計	49.6	18.4	82.1	5.5	155.6

現地塗装工数量計算表

1/2

1). 内面塗装工(ノントールエポキシ樹脂系)

1. セグメント高さ	(イ) 継手溶接部	$3.44 \times$	4	=	13.8 m
	(ロ) 外板溶接部裏面高さ	$3.44 \times$	2×4 ヶ所	=	27.5 m
2. 上・下部セグメント接合円周部	(イ) 溶接線部	$4.20 \times$	π	=	13.2 m
	(ロ) 下部セグメント頂版裏面	$4.20 \times$	π	=	13.2 m
3. 上床版関係	(イ) 上部セグメント頂版裏面	$4.17 \times$	π	=	13.1 m
	(ロ) 中央センター部	$4.17 -$	0.205×2	=	3.8 m
	(ハ) 内部円周部	$3.8 \times$	π	=	11.9 m
4. 縦リブ関係	(イ) 溶接部	$0.1 \times$	2×12 ヶ所	=	2.4 m
	(ロ) 下部セグメント頂版裏面	0.1	2×12 ヶ所	=	2.4 m
5. 継手板関係	(イ) 溶接部	$0.18 \times$	2×4 ヶ所	=	1.4 m
	(ロ) 下部セグメント頂版裏面	$0.18 \times$	2×4 ヶ所	=	1.4 m

小計) 104.1 m

依って内面補修面積は、 $104.1 \times 0.2 = 20.8 \text{ m}^2$
(片側 10cm巾)

6. 電気防食陽極棒	溶接部	$0.04 \times$	2×6	=	0.5 m^2
		(20cm角)			

内面合計 21.3 m²

現地塗装工数量計算表

2/2

2). 外面塗装工(タールエポキシ樹脂系)

1. セグメント高さ (2.64 + 0.80) × 4ヶ所 = 13.8 m

2. 上・下部セグメント接合円周部 4.20 × π = 13.2 m

3. 上床版関係 (イ) 溶接線部 4.17 × π = 13.1 m

(ロ) 外枠溶接部 0.30 × 2 = 0.6 m

小計) 40.7 m

依って外面補修面積は、 40.7 × 0.2 = 8.1 m²

4. 電気防食陽極棒 溶接部 0.04 × 2 × 6 = 0.5 m²

外面合計 8.6 m²